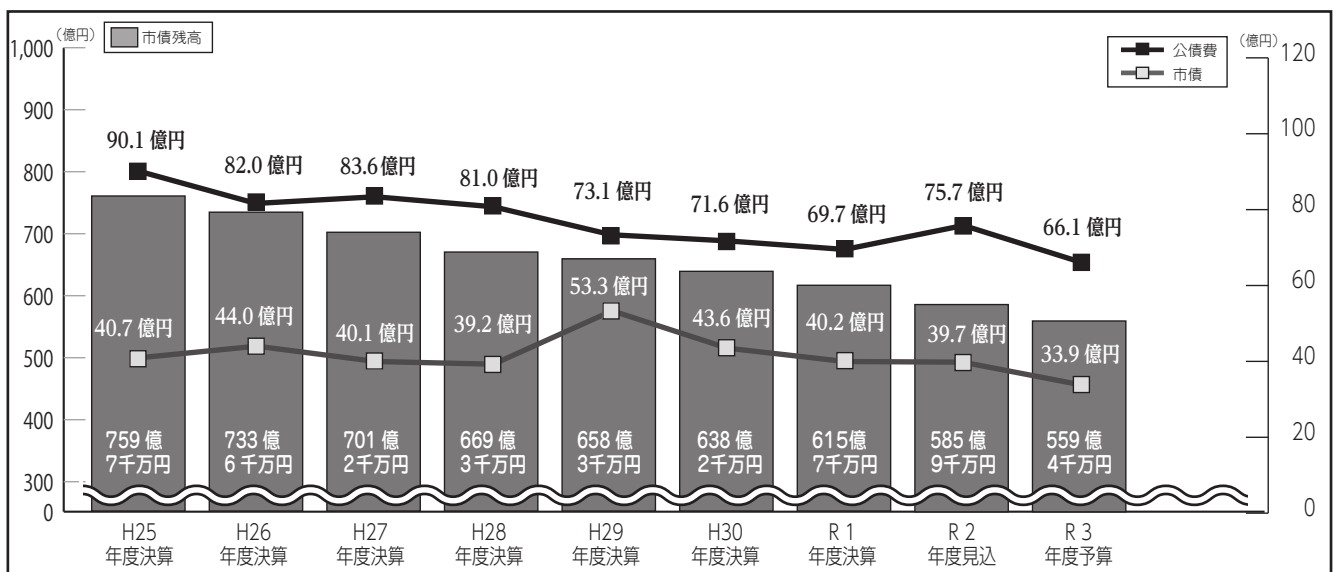
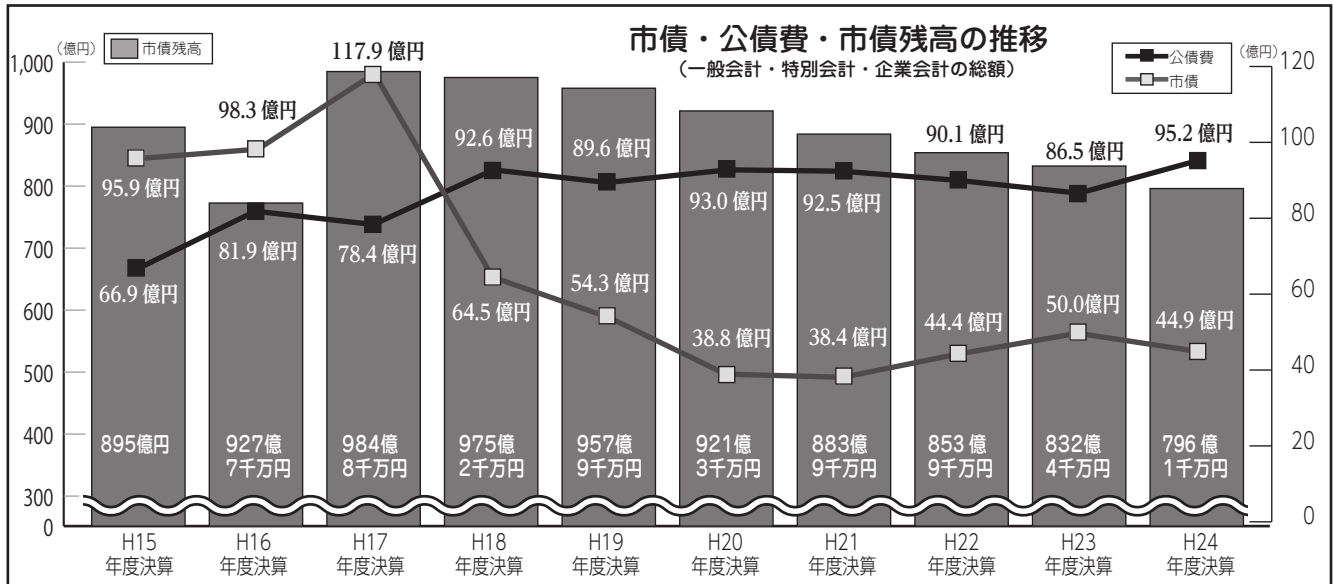


(収入) (支出) (ストック) **全会計における市債・公債費・市債残高の推移**

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借入金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から令和3年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。



▼市債（借入金）の推移…合併時の95億9千万円から比較すると、今年度の当初予算では約1/3の33億9千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も計画的な借り入れによる財政運営を継続します。（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等により一時的に増加したものです。また、平成29年度は平成28年度からの繰越事業や郡上市北部斎苑、郡上市産業プラザ等の大規模事業により増加しています。）

▼**公債費（返済金）の推移**…繰上償還を平成24年度に約10億円、平成25年度に約 8 億円、平成26年度は約 3 億円行ったため公債費が多くなっていますが、実質的には平成20年度の93億円がピークで、今年度の当初予算では、66億 1 千万円となっています。平成27年度、平成28年度にも約 6 億円の繰上償還を実施しており、公債費は徐々に減少する見込みです。

▼市債残高（借入金残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度における残高見込みは559億4千万円となりますので、16年間でピーク時の43.2%減少しました。今後も借入金残高を減らす努力を継続します。

一般会計 単位：億円

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
市 債	70.8	68.6	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	42.3	34.0
公債費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.2	66.6
うち元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	60.1
うち利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.1	6.5
市債残高	509.4	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	462.9	436.8

年 度	25	26	27	28	29	30	1	2	3
市 債	28.4	28.9	28.8	23.5	45.3	33.2	31.8	30.2	23.2
公債費	62.6	55.5	57.0	53.8	45.0	42.6	40.5	38.1	37.0
うち元金分	56.9	50.5	52.6	50.2	42.2	40.3	38.7	36.7	35.7
うち利子分	5.7	5.0	4.3	3.6	2.8	2.3	1.8	1.4	1.3
市債残高	408.4	386.8	362.9	336.2	339.4	332.3	325.4	318.9	306.4

特別会計 単位：億円

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
市 債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.7	5.7	6.9	9.7
公債費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8
うち元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2
うち利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.9	292.9	283.3	275.9

年 度	25	26	27	28	29	30	1	2	3
市 債	9.6	14.2	10.9	14.8	7.1	7.9	6.1	1.6	0.1
公債費	21.4	19.9	19.9	20.4	21.3	15.9	16.1	9.0	0.4
うち元金分	16.0	14.7	14.9	15.6	16.9	12.7	13.1	8.9	0.3
うち利子分	5.4	5.2	5.0	4.7	4.5	3.2	3.0	0.1	0.1
市債残高	269.5	269.1	265.2	264.4	254.6	174.3	167.3	3.9	3.7

企業会計 単位：億円

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
市 債	0.0	11.1	44.6	3.9	0.5	0.3	0.2	0.0	0.8	1.1
公債費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.9	5.8
うち元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.8
うち利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.1	97.5	95.3	92.6	89.2	86.2	83.4

年 度	25	26	27	28	29	30	1	2	3
市 債	2.6	0.9	0.4	0.9	0.9	2.5	2.3	7.9	10.6
公債費	6.1	6.6	6.7	6.8	6.8	13.1	13.1	28.6	28.7
うち元金分	4.3	4.8	5.1	5.2	5.3	10.7	10.9	23.9	24.4
うち利子分	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	2.4	2.2	4.7	4.3
市債残高	81.8	77.7	73.1	68.7	64.4	131.6	123.0	263.1	249.3

合 計 単位：億円

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
市 債	95.9	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	50.0	44.9
公債費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.5	95.2
うち元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	81.0
うち利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.0	14.1
市債残高	895.0	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	832.4	796.1

年 度	25	26	27	28	29	30	1	2	3
市 債	40.7	44.0	40.1	39.2	53.3	43.6	40.2	39.7	33.9
公債費	90.1	82.0	83.6	81.0	73.1	71.6	69.7	75.7	66.1
うち元金分	77.0	69.9	72.6	71.1	64.3	63.7	62.7	69.5	60.4
うち利子分	13.0	12.0	11.0	10.0	8.8	7.9	7.0	6.2	5.7
市債残高	759.7	733.6	701.2	669.3	658.3	638.2	615.7	585.9	559.4

※市債、公債費、市債残高の令和元年度以前は決算の数値です。

※数値は端数調整により、合計額と合わない場合があります。

※令和2年度、3年度の数値は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

※平成30年度以降の市債残高は会計統合後の残高となります。

(ケーブルテレビ事業特別会計は一般会計へ統合、簡易水道事業特別会計は水道事業会計へ統合)

※令和2年度は、下水道事業が特別会計から企業会計へ移行後の残高となります。